

一呼吸

題字 一呼吸 揮毫 西予市立宇和町小教諭 浅野 郁夫 解説は3面



発行所
（公財）愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスボワール愛媛文教会館内
電話 (089) 945-8644
FAX (089) 945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 若宮小学校
- (3) ふるさとに生きる
- (4) 私の趣味・特技
- (5) 日連教長崎大会提案要旨
- (6) 「えひめ教育の日」の取組
- (7) ふるさとスケッチ
- (8)

同和教育との出遭いが私の未来をひらくことに



元宇和島教育事務所長
宇和島教育会会長
浅田 淳

私の教員生活では、私を突き動かすような様々な難題がありました。なかでも最大の難関は平成三年附属小学校から帰ってきた私に課せられた同和教育推進主任の職務でした。その遂行には私の根拠が立ちただかっていたのです。

何より「あなたは差別者だ」という心深く突き刺さる図星の問いでした。私は二歳の時に母を亡くしました。母との離別が私の心身を挫き、特に自尊心を根柢からむしばみました。青年期は劣等感にまみれ自己否定にもがく日々でした。自尊心が低い私の心は差別の温床そのものです。

「自己を愛することのできない者は、他者を愛（尊重）することはできない」。この自尊心の負のエネルギーは、私を飲み込み、劣等感を隠そうと嘘をついたり、逃げたり、他者攻撃をしたりしながら心のエネルギーを浪費する惨憺たる日々でした。

今競争社会の中で貧困格差社会が拡がり、私と同じように多くの人々の無意識（自尊心）はむしばまれています。家庭環境が悪化し離婚の増加、虐待、自死、またいじめも跡を絶ちません。エゴが充満し、政治家でさえ不正義が公然とまかり通っています。

この様な社会状況では部落差別の解消を訴えても傷ついた心の扉は開かれないのです。私は、同推の職務に携わって以来、被差別の現実に置かれた人々の立場に立ち、そこから生き直そうとしてきました。すると不思議なものでただけ私が支えられいやされてきたか分かりません。「生きていてよいんだ」という自尊心の高まりの中で差別心が解かれ、不思議に自己が発揮できるのです。また日々、ヨガや瞑想に取り組み失った「心」に集中できる心身の感覚を蘇らせようとしています。

差別を学ぶことは、社会や人間の在り方を求める根本的な問いに向き合うことだと考え、私の生涯の課題として取り組もうとしています。私はありがたいことに徐々に変わりはじめ、未来に希望を抱けるようになっていきます。

一略 歴

（あさだ・あつし）

- 平成8年 御荘町立赤水小学校校長
- 平成12年 宇和島教育事務所教育指導課長
- 平成14年 宇和島教育事務所長
- 平成16年 宇和島市立吉田中学校長
- 平成18年 同校で退職
- 平成28年 現在に至るまで宇和島教育会会長

聞 響

日本人にとつての「四季」。他国にも四季は存在するが、日本人ほど心の奥底に宿る「春夏秋冬」を大切にしたり、誇りに思ったりする人間は少ないと思う。幼い頃より慣れ親しんだ四季により、日本人の伝統・文化・国民性は養われてきたと言える▼季節の花や香り、行事、食べ物、装い、俳句の季語、自然や風景の移り変わり：等々、新しい季節を迎え、そこから感じる風情や趣により、心身をリフレッシュする喜びは、繊細な日本人の心に共鳴するものとして大切にされてきている。

我々の衣・食・住の全てにおいて生活の中に取り入れられ、身体に染み込んだ感覚は当たり前とさえ思っている▼ところが、そんななか最近よく目にするのは「異常気象」の四文字。日本に限らず、世界中同様である。地球温暖化が、この異常に拍車をかけているとのことであるが、猛暑と冷夏、繰り返される想定外の自然災害には驚くばかりである。何とか「想定外を想定内」にしたいものである▼学校で行う運動会の実施にまでその影響は及んできている。学校や地域の判断で実施時期を変更したりもされているが、今年こそ、爽やかな秋晴れを祈らずにはおられない。

ひとこと

日本の四季と歩む



愛媛県中学校体育連盟 会長 松岡誠一郎

ら「さあ、市総体の勝負の季節だ」と歯をくいしばる。

夜空のさそり座で夏を感じ、キンモクセイの香りで秋を知る。

そして、スイセンの花を見て「この学級とも間もなくお別れの季節なんだ。」と一瞬、たそがれる。

ぜび、こんな心情を季節と共に生徒にもたせたいと思いい、生徒の前で話す時には冒頭で季節に関する話をしていきます。

「草花」「星空」「食べ物」など材料はたくさんあります。バタバタと過ごしている時こそ「四季」を五感で感じ、心の栄養をとりたいたいものです。冬至の日、何人の生徒が「ゆず湯」に入浴するのでしょうか。

ここで、校長生活最後の卒業式の式辞は「四季の心」というテーマで、卒業生に送る言葉とする予定でいます。

人と関わる時には「穏やかな春の心」。スポーツ、勉学等、自分を成長させる時には「熱い夏の心」…。

(松山市立南第二中学校長)

学校紹介

No.181

新居浜市立若宮小学校

強く正しく

本校は、統廃合により、平成三十年三月三十一日をもって輝かしい校史に幕を下ろすことになりました。地域の学校として親しまれ愛されてきた若宮小学校が閉校となることは、とても残念なことです。

本校の歴史をさかのぼってみますと、開校されたのは、昭和二十七年九月。当時は、児童数五四三名、十二学級でありました。昭和三十四年には、児童数一、一六三名にも増えました。その後、体育館や新校舎、本館やプールが建設され、素晴らしい教育環境が整備されるとともに、教育内容も充実して参りました。しかし、少子化の波には打ち勝てず、今年度は全校児童数三七名。子どもたちのより良い教育環境を目指し、近隣校との統合となりました。

私が教頭として三年間、校長として二年間お世話になった若宮小学校。好きなどころはたくさんあるのですが、その一部を紹介したいと思



を言う場所には、「強く正しく」と刻まれた石碑があります。これは、昭和三十年の開校三年目の記念日に建立されたものです。『強く正しく』という言葉は、校歌にも出てくる本校の校訓でもあります。とてもシンプルではありますが、人間育成のための平易にして崇高な原点だと思っています。

まだまだ他にも、地域・保護者・学校が一体となって行う「若宮ふれあい大運動会」や、子どもたち全員が主役の「わかっ子集会」、全校みんなで祝いする「お誕生集会」、地域・保護者の方と一緒に「紙飛行機づくり」や「竹とんぼづくり」など、本校ならではの活動も数多くあり、子どもたちとともに楽しい毎日を送っています。

この若宮小学校での楽しい生活は残り少なくなりましたが、一日一日を大切に、強く正しいわかっ子とともに歩んでいきたいと思

(校長 中野 久)

題字に寄せて

一呼吸



西子市宇和町小教諭 浅野 郁夫

「今 大切なのはかつてでもこれからでもない 一呼吸一呼吸の 今である」 習字の師である恩師のお宅にあった書を使わせてもらった題字である。

通級指導教室担当になって五年になるが、いまだにわからないことだらけである。同じ内容でもひとりひとり学び方が違う。試行錯誤の日々。目の前のこどもに向き合うしか、解決の手段はない。そんな日々在最近思う。 二次障害といわれる意欲のない子どもを作らないように支援することがわたしたちの仕事ではないのかと。 それは、一呼吸一呼吸の今にあると。

ふるさとに生きる

絵を愛し、人を愛して心豊かに



松本 徳園先生

斬新な構図と繊細な筆遣い、上品で温かな色彩の日本画は、観る者に、深い感動を与えます。それもそのはず、作者の松本徳園先生は、愛媛県日本画会会長であり、愛媛県美術会名誉会員という美術界の重鎮なのです。 八十九歳になられた今も、美しい日本画を描き、大勢に指導し、生き生きと毎日を過ごされています。

現職の校長先生としてご活躍されていた三十年ほど前、私は図工主任としてお仕えたことがあります。厳しくも温かいご指導で、未熟だった私を育てていただきました。 そのころ、心に残っているのは、卒業生一人ひとりを校長室に招き、卒業記念に似顔

訪問者 石河 由美子 (八幡浜教育会)

絵を描かれていたことです。鉛筆の柔らかな線で描かれた似顔絵は、一生の宝と言える素晴らしいものでしたが、百二、三十名もの似顔絵を描かれるそのパワーには、驚くばかりでした。お聞きすると、校長になってから退職するまでの十二年間、毎年欠かさず描かれたそうです。

ご退職後は、新田高校や県総合教育センターで講師をされた後、現在は、市のカルチャースクールで、大勢の生徒さんに日本画を指導されています。その他にも県展出品をめざす三つのグループに、週一回指導をされているそうです。生徒さんたちは、八幡浜市にとどまらず、宇和島市、西子市、大洲市、松野町から

No. 92



も先生を慕って参加されています。 カルチャースクールへお伺いすると、人気の理由が分かりました。ユーモアを交えた丁寧なご指導とともに、気取りのない先生のお人柄が、温かい人間関係を生み出しているのです。生徒さんは六十代以上の女性がほとんどで、「何年も通っているのに、安心して教えていただける。」 「徳園先生の本物の絵を見るのができて、勉強になる。」 若い人たちに伝えたいことをお聞きすると、「私は、人に恵まれている。人との付き合いは、私を支え元気にしてくる。教職員として日々頑

張っている人が多いと思うが、学校内だけでなく、地域に心を開いて、地域の人との付き合いを楽しんでほしい。人から学ぶことは、本当にたくさんあるのだから。」と、話されました。 ご自身の得意なことでの役に立ち、大勢の人に囲まれて朗らかに過ごされている徳園先生の生き方は、私たちの理想と言えます。今後、ますますお元気にご活躍され、心豊かな日々を送っていただきたいと願っています。

松本 徳園先生 (89歳) (八幡浜市山越在住)

オフィスのことは何でもご相談ください。 AGUSAS AGENT FOR USERS WITH SUPPORT AND SOLUTIONS 株式会社アグサス http://www.agusas.com

特集 私の趣味・特技

熱くなる今年の秋



小富士小 論望 望美 安藤
教諭 四国中央市

北京オリンピックでフェンシングの太田雄貴選手が個人では初となる銀メダルを獲得してからはや九年が経ちました。かつて、学生時代に同じ会場で試合をしていたこともあり、テレビにかじりついて応援したことを思い出します。

私は、小学四年生の時にフェンシングと出会い、それから十二年間、選手として戦いました。社会人になってからは、主に指導する側となりジュニア選手の育成に励みました。結婚・出産もあり、現在はフェンシング観戦を余暇の楽しみにしています。県内のフェンシングの試合は少なく、観戦する機会は年に数回程度です。白熱した試合の攻防を観ているとやはり興奮します。点を取るとまるで自

分が選手であるかのように雄たけびをあげます。その度に、「現役の頃に戻って、試合に出たい。」と思います。…が、体は正直です。動けません。

十月には、四国中央市で愛媛国体が開催されます。残念ながら選手としては出場することはできませんが、この度、役員として大会に携われることとなりました。観戦する余裕はないのは分かっています。裕は全国から強豪選手が集まるスポーツの祭典です。今から楽しみでたまりません。土日の試合もあります。是非、フェンシングを観に、会場に足を運んでみてはいかがでしょうか。きつと、『マインースポーツ』というイメージを覆らされることと思います。



教育会 越智 雅子
OB 今治 石川

「わらしべ長者」のように

私は小さい時から習いごと

が大好きで、退職後も卓球とギターを習い始め、日々練習に明け暮れています。

頭と体の老化防止を目指して始めたのですが、どれもなかなか奥が深く、卓球では、練習をすればするほど発見があり、試合で使えるよう技術を一つずつ身に付けています。

今日あった松山での卓球の試合では、あと一歩で惜しくも…というゲームもあったけれど、日ごろの練習の成果を試せたし、宇和島や松山の友達と話せ、仲間の応援もでき、楽しい時間を過ごせました。

ギターでは、昨年仲間たちと始めた老人施設訪問が現在七回目を数えます。お年寄りが一緒に歌い、手拍子を取って楽しんでくださる姿を見て、充実した気持ちになっています。

これらの活動を通して、退職後のゆったり流れる時間にメリハリが付き、新しい友達がたくさんできました。

つくづく、人生は昔話の「わらしべ長者」のように、一つのことを広がつていくんだなあと思います。先日は、ギターの名手が松山で演奏をするので聴きに行くと、上手な人のたたずまい・雰囲気・演奏の

仕方：等を間近に見て、美しい音を聴くことができ、自分の練習の参考になりました。

卓球仲間がこんなふうにしたうので作ってみるとおいしくでき家族に喜ばれました。

これからも周りの人・本などに触れ、自分に取り入れ、人生を豊かにしていこうと思っています。

ALL I NEED IS MUSIC (音楽こそすべて)



中野小 論望 政一 豊島
教諭 松山市

私の書棚には、五百枚以上のCDとLPレコードがあります。私の趣味は、音楽です。中学生の時に聞いた、あるロックバンドの曲をきっかけとして、今までにコンサートに何度も出かけたり、たくさんのLPレコードやCDを買って集めたりしてきました。

それから、私の趣味は、音楽を聴くことだけでなく、楽器を演奏することにも興味がありました。高校生で初めてバンドを組みました。自分の

担当楽器はベースでしたが、とんでもない演奏だったと思います。その後、大学でもバンドを組み、日に何時間も練習をして、月に一回ぐらいのペースでコンサートをしました。その時の舞台度胸は、教員としての仕事に役立っているのかもしれない。

そして、教員になってからは、大学時代のバンドのメンバーを母体として、年に数回のペースで演奏をしてきました。今のところ、最後の演奏が六年前です。少しブランクが長いのですが、それまでよく飽きずにできたと思います。

先日、英語の授業の「私の宝物」を紹介する単元で、生徒の前で、自分の楽器を英語で紹介しました。六年間使っていないベースの弦はさびていましたが、弾いてみると、何となく懐かしい音が聞こえてきました。その音を聞いてみてくなりました。私の楽器が、再び音を奏でる日も近いのかもしれない。



楽しんでいきます！ 習字ライフ



大洲市大洲小
教諭 大塚 里美

私は、今、習字ライフを楽しんでいます。習い始めたころは、書くだけで精一杯でした。けれども、最近は一筆で書くことがとても面白くなってきました。今は、「かな」に挑戦しています。

習字を習い始めたきっかけは、通信簿です。まだ通信簿をパソコン処理していなかったころのことです。先輩が、筆でさらさらと子どもたちの名前を表紙に書かれていたのを見て、「私もあんな風に書きたい。」と思ったのが始まりです。以来、「継続は力なり」をモットーにずっと続けてきました。練習は夜。周りが静かに

祝 受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

岡 武男様 88歳	元松野町立松野東小学校長	松野町
黒田 又夫様 88歳	元宇和町立宇和中学校長	西予市
門家 寛一様 88歳	元松山市立坂本小学校長	松山市

なつたころ始めます。筆を持ち半紙を前にすると、疲れやストレスが消えてしまいます。また、「面白い字の書き方が出会うと、「こんな書き方があったのか。」とわくわくします。とは言え、気分が乗らなかつたりお手本が難しかったりすると、「もう、これでいいか。」と怠け心がむくむくと起きてしまいます。そういう時は、必ず先生から、「うーん、もう一度かな。」という言葉で、そして、面白いようにさらさらと書けた時には、「お見事です。」という言葉をいただきます。先生に作品を見ていただくときは、子どものようにドキドキです。そして、先生の言葉に一喜一憂しています。

不肖の弟子を気長に温かく指導してくださっている先生に感謝しながら、これから、習字ライフを楽しんでいきたいと思っています。

花に魅せられ



西宇和教育会
OB
三浦五十鈴

むかし、昔のことじゃった。二〇代前半…初任者時代のある日、「お花のけいこを始めましょう。」と、先輩の先生の声かけで、お花を生けたのが、花との初めての出会いだった。側で見ておられた先生の先生が、「絵を描くように生けたらいいのか。通じるものがあるの。」と一言。先輩が生けられた花は、いつも美しく校長室に飾られていた。

二〇代後半…地域の公民館へ花の指導に行っていた叔父に、花の手ほどきを受けることになった。叔父から「そろそろ、免許を取っとくかのー。」との言葉に『免許？大丈夫？』と、少し戸惑った。三〇代前半…入学式、卒業式には、壇上に立派な花が添えられ、子どもたちを祝福し

ている。その花は、先輩の先生が生けておられた。保護者から届いた花も、次々とつぼの中へ。「葉の花は、足元へ入れると引き締まるよ。」と、言われるままに生けていった。これらの体験が、今の私の糧となり、喜びとなった。

四〇代前半…私も校長室に花を生けさせていただくことにした。緊張が走る。生けた後も、花が弱っていないか、花への目配り気配りも必要である。先輩の温かい思いが、伝わってきた。（四三歳退職）

地域に根ざして…文化協会に入り、文化祭に出展することにした。子どもたちにも参加してもらった。『私は、ピントの花が好き。幸せが叶うようにいけた。家に飾りたい』と、書き綴る子もいた。

あれから五〇年。花を愛し、生けることを趣味としている私が、ここにいる。おしまい。



俳画・水墨画教室
小池 郁子 作

TRIM トリムイオン整水器のご案内

私たちの身体の約60%は水が占めています。飲む水も、料理で使う水も、私たちの生活のさまざまな場面でふれあうすべての水を生命に適した、よりよい水でお届けしたい。それが日本トリムの考える「ウォーターヘルスケアという、新習慣。」です。



お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 郡市学校生活協同組合

自動車大口団体割引保険のおすすめ

学校生協組合員様は、現在ご加入の自動車保険無事故割引から12%割引、一括払でさらに5%割引になります。保険料のお支払は給与引法となります。教員OBの方も0%座席特（一括払）で適用されます。



一引受保険会社

- 東京海上日動火災保険㈱
- 三井住友海上火災保険㈱
- 損害保険ジャパン日本興亜㈱

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 郡市学校生活協同組合

日連教長崎大会分科会提案要旨

確かな学力を身に付け、自ら学ぶ児童の育成

ユニバーサルデザインの視点を 取り入れた授業づくり

八幡浜市立神山小学校

教諭 宮本昌枝

一 研究協議題とのかかわり

本校は、この二年間、愛媛県発達障がい理解推進拠点事業及び発達障がい早期支援研究事業の研究指定を受け、異校種間や関係機関と連携した支援体制の確立や個のニーズに応じた指導の充実を目指した授業改善に取り組んできた。

二 研究のねらい

○ 通常の学級において、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりやかわり合う活動を工夫することで、すべての児童に「できる喜び・分かる楽しさ」を味わわせ、確かな学力を身に付けさせる。

○ 特別支援教育体制や学習環境を整備するとともに、家庭や地域社会との連携を推進し、全ての児童の学びの場を保障することで、学

三 研究の実際

(一) ユニバーサルデザインの授業づくり

本校の研究組織に、授業改善部、学習環境部、連携推進部の三部会を設置し、算数科を中心に授業のユニバーサルデザイン化を推進するとともに、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善に取り組んだ。

五年「整数」の学習では、

習熟の程度に応じたグループで学習を進めた。授業の導入では、問題解決への見通しを持たせるため、拡大方眼紙を使って具体例を挙げながら、題意を把握させていった。自力解決の際には、約数を見付けるための九九表や解決の手順を示したヒントカードの提示、可能な役割を与えるなど、児童の困り感に沿った合理的



配慮も提供した。グループごとで解決方法を練り合った後は、発表ボードを活用して共有化を図った。

児童による授業評価を分析したところ、習熟の程度に関係なく、対話が充実していたグループの授業満足度が高い傾向にあることが分かった。

整備

ア 教室環境の整備

児童が学習に集中できる教室環境を目指し、教室前面の掲示物は、最小限にした。友達よさを学び合う場の一つとして、自主学習や授業のノート等から、見本となる児童のノートを紹介するコーナーを設置した。

イ 放課後等補充学習

二年前から、学習習慣の確立を目指した補充学習を実施している。昨年度からは、認知特性に応じた学習をする

コースも設けた。指導の際には、楽しみながらできる内容を工夫し、得意なことを生かしたスモールステップでの指導を心掛けて行った。

(三) 移行支援体制の整備

中学校区内において特別支援教育コーディネーター等連携会議を開催し、特別なニーズのある幼児・児童の早期発見と早期支援のために必要な研修を行い、体制づくりについて検討を進めてきた。移行支援や早期支援のためのツールとして「成長や発達のおたずねアンケート(保護者対象)」と「移行支援シート(関係機関用)」を作成した。

昨年度は、就学時健康診断の際に、保護者に趣旨を説明した上でアンケートに回答していただいた。入学前相談を希望した保護者については、個別に教育相談を行い、支援の方向性について話し合った。このアンケートや移行支援シートを活用して、特別支援教育コーディネーターと発達障がい支援アドバイザーが幼稚園や保育所を訪問し、普段の活動の様子を見たり支援の引継ぎについて担任と意見交換を行ったりした。

四 主な成果

ユニバーサルデザインやア

クティブ・ラーニング、合理的配慮の視点に立った授業改善を進めることで、教職員の専門性や指導力の向上を図ることができた。

また、保育所・幼稚園と小学校の接続において、発達障がいの可能性のある児童の早期発見と支援の円滑な引継ぎができるようになった。

五 課題と今後の対応

○ 個別学習の時間に身に付けた力を通常の学級での授業の中で活かす。

○ 二年間の指定事業の成果が市内で共通化できるように、市内の特別支援教育の充実と体制の確立を図る。

教職員の皆様のための「教弘保険」

34歳までは「ユース教弘」

35歳からは「新教弘保険」

ジブラルタ生命保険(株)は公益財団法人日本教育公務員弘済会の共済事業(提携保険事業)の提携会社として、60年以上にもわたる提携を通じて教職員の皆様の福祉向上のお手伝いをさせていただきます

ジブラルタ生命保険(株) 松山エリア
Tel089-913-8780/Fax089-913-8789

制定十周年！
 県都松山市から 未来へ羽ばたけ！ 愛顔のえひめっ子
十一月一日 「えひめ教育の日」
 今年、「えひめ教育の日」

制定十周年。記念の年です。
 平成二十年に、松山市からスタートした、推進大会・推進フェスティバルも、東予・南予へとバトンがつながり、県下全域に趣旨が浸透してきました。今年、原点にもどって県都松山市から発信し、県民へ更なる普及・啓発・飛躍を図ります。

**制定十周年記念！
 「えひめ教育の日」
 ・推進大会
 ・フェスティバル**

一 日時 十一月五日(日)
 十二時三十分から
 二 場所 エスポワール
 愛媛文教会館

三 内容
 (松山市祝谷町一五―三三)

- 開会式**
- ・主催者あいさつ
 - ・来賓祝辞
 - ・表彰
 - ・関連写真
 - ・ポスター図案
 - ・「愛のあるバナナ」贈呈

推進テーマ
未来へ羽ばたけ！ 愛顔のえひめっ子



- 推進フェスティバル**
- ・合唱 湯築小学校
 - ・吹奏楽 勝山中学校
 - ・書道パフォーマンス 松山北高校
 - ・水軍太鼓 久米小学校
 - ・物産販売展示発表 松山工業高校
 - ・松山商業高校
 - ・伊予農業高校
- 記念講演**
- 講師 妹尾 昌俊氏
 (教育研究家・学校マネジ
 メントコンサルタント)

演題 「子どもたちが二十一世紀を生き抜くために」
 地域とともにある学校づくりを始める・広げる」

共催団体 えひめ若年人材育成推進機構

**「えひめ教育の日」
 関連写真募集**

推進テーマ「未来へ羽ばたけ！ 愛顔のえひめっ子」に

沿ったもので、PTA主催(協力)により夏季休業中に実施した行事などの写真を募集しています。

- ・親子参加の行事
- ・地域住民参加の行事
- ・防災教育、奉仕・体験活動、キャンプ、学習会 など
- ・表彰・写真展など

県庁ロビー・文教会館、教育会HP、文教月報

締切・送付方法など
 電子データによりメールでの送信、または、CD-ROMなどの電子媒体に保存して送付してください。

(詳細は教育会HPを参照)
 ・メールアドレス
 info@ehime-kyouikukai.jp
 ・宛先

「えひめ教育の日」推進会議事務局
 (二七九〇―八五四五)
 松山市祝谷町一五―三三)
 ・締切 九月二十九日(金)

駐車場は用意しとるけん。(湯築小学校)



ローカルトピックス

「越智泉之碑」の秘密

松山市立石井東小学校の東側の住宅地に、「越智泉之碑」と記された石碑がある。石井東小の住所は越智一丁目。越智の地名が、「越智郡大三島」に由来することを御存知だろうか。

越智は、江戸時代天保の頃には、水が乏しく、穀物のできないやせた土地だった。藩主久松勝善公は、治めていた大三島から三十数戸の農民を移住させ、土地を開拓させることにした。越智村の始まりである。

開拓は困難を極めたが、土木技術にたけた村人たちは、泉を掘り、道を造り、村は次第に豊かになっていった。

越智泉が掘削されたのは、開拓を始めたから八〇年後、大



越智泉之碑



越智泉完成で喜ぶ村人たち(1914年)

正三年のことであった。石碑の隣にはポンプ小屋があり、今も水を汲み上げている。越智は、今や八百世帯を超える住宅密集地となった。農地も少なくなつたが、この「越智泉之碑」は、越智発展の礎を築いた人々の苦勞を今に伝えている。(越智町内会長の越智さんに取材しました。)

文教月報編集協力委員 田中ひとみ
 松山市立石井東小学校長

ふなとスケッチ

宅並山

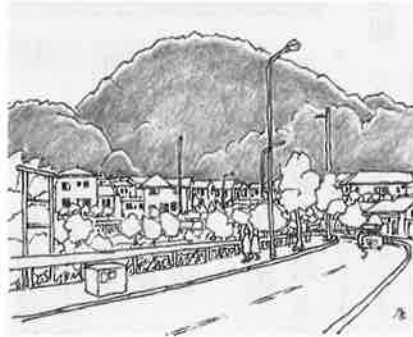


松山市教育会OB 安倍 康彦

安倍 康彦

No.403

日課の散歩を楽しみ、わが家に近づく道は登り坂、そのむこうに宅並山がどっしりした姿で私を出迎えてくれる。伊子の有力者、河野氏の城(岩)跡であり、わが校区のシンボルのひとつである。「宅並山を育てる会」の皆さんのご努力により、登山道も整備



されている。会の人や粟井小の児童たちが植樹した桜つつじ、あじさいが登る人の心を和ませる。海拔二百メートルの山頂からは、瀬戸内の島々、高縄山、鹿島などが望める。絶景である。私のお気に入り風景である。私のお気に入りの風早地方の山である。

ご冥福をお祈りします

Table with 3 columns: Name, Age, Address. Includes names like 長岡 芳朗様, 赤松 亨様, 山崎 俊丸様, etc.

お知らせ

教育講演会

去る六月九日、本会代表者研修会を兼ねて教育講演会を行いました。愛媛大学教育学部副学部長の太田佳光先生に「特別の教科道徳の実施に向けて」道徳の授業はどう変わるのか」と題して御講演をいただきました。



今回の学習指導要領の改訂に伴い、大きな実践課題である道徳教育、特に道徳の授業の在り方について、教材や指導方法、指導者としての教師の立ち位置等に関して大きな示唆を与えていただきました。また、茅ヶ崎市立浜之郷小学校の元校長大瀬敏昭先生の実践をご紹介いただき、道徳を特別の教科として充実させるために、○ホンネを出すことができること、○自分の事として考えることができる

心が動く 授業実践を強調されました。教育現場での具体化を期待します。

俳句募集中

四月号でお知らせしましたとおり俳句を募集しています。一般の部・ジュニアの部とも応募は十月三日(火)までです。選考の後、秀句の表彰・発表を行います。ふるってご応募ください。詳細は、教育会のホームページをご参照ください。

寄贈図書



『心の読書記録』 寄贈者 望月 森生氏 寄贈いただいた図書は文教会館一階で閲覧できます。

訂正

七月号において、五面「地区教育会一覽」八幡浜教育会のFAX番号089412213461を「3167」と誤記したことをお詫びし、訂正いたします。

文教の いもたき会ビアホール 好評です！屋台メニュー 一人様(食べ・飲み放題) 3,200円 9月27日(水) 9月28日(木) 9月29日(金) 小グループでお気軽に エスポワール文教会館(089-945-8644)

足跡をつづる、私を記す、形に残す。 品質・デザイン力に自信あり! 本づくり応援 プロのスタッフが校正作業をサポートします! プロのデザイナーがデザイン力を発揮します! SEKI セキ株式会社